

業の439以下水産業1の間にあり20.1%に過ぎず。

次に本業中其の主なるものゝみに就き、職業小分類別に擧ぐれば農業手助111,497は其の數最も多く、本業總數の40.2%あり、之に次ぐは農耕業主64,192(23.1%)、其の他の農業勞務者18,832(6.8%)、物品販賣業主8,529(3.1%)、商業手助5,040(1.8%)、漁業主4,477(1.6%)、作男作女4,077(1.5%)、露店(屋臺店を含む)商人行商人呼賣商人3,471(1.3%)、日傭(と單に申告したる者)3,162及漁業手助3,129(各1.1%)、仲仕荷拔夫運搬夫2,903(1.0%)等にして、他は孰れも本業總數の百分の一以下にあり。

本業者を更に産業上の地位に依り分つときは、雇主63,749、單獨27,650、使用人186,199にして、使用人最も多く本業を有する者の六割七分を占め、雇主二割三分、單獨一割とす。男女別に就て之を見るに、男に在りては總數の場合と同一傾向を示し、使用人五割七分六厘、雇主二割九分八厘、單獨一割二分六厘なるに對し、女に在りては使用人八割八分二厘、雇主七分七厘、單獨四分一厘の如く使用人の割合著しく多く、雇主及單獨の割合甚だ少なし。

次に本籍、民籍又は國籍別に之を觀察すれば、内地人は其の大部分が使用人にして八割四分三厘を占め、雇主八分五厘之に次ぎ、單獨七分二厘を第三位とす。朝鮮人も亦其の大部分が使用人にして八割四分二厘を算し、單獨一割一厘にして、雇主五分七厘とす。本島人は其の六割六分三厘が使用人にして、雇主二割三分八厘、單獨九分九厘の順序とす。外國人は使用人其の六割五分五厘を占め、單獨二割一分六厘之に次ぎ、雇主一割二分九厘とす。而して之を總數の場合に比較するときは、内地人及朝鮮人に於ける使用人の割合は著しく高く、雇主の割合は甚だ低く、單獨の割合は内地人に在りては低率なるも、朝鮮人に在りては高率なり。又本島人に在りては單獨と使用人の割合稍々低く、雇主の割合稍々高し。外國人に在りては雇主と使用人の割合低率なるも、單獨の割合高率なり。

更に職業大分類別に之を見るも亦使用人の割合は依然第一位を占め、使用人に次ぎ、單獨の割合第二位にあるは商業、工業、交通業、公務自由業、其の他の有業者にして、又使用人に次ぎ雇主の割合第二位にあるは農業のみなり。而して水産業に於ける雇主と單獨は同率とす。

職業(大分類)及産業上の地位に依り分ちたる本業者

職業	總數	雇主	單獨	使用人	各人口千中			
					總數	雇主	單獨	使用人
總數	277,598	63,749	27,650	186,199	1,000.0	100.0	100.0	1,000.0
1 農業	202,995	53,938	10,741	138,316	731.3	846.1	388.5	742.8
2 水産業	8,908	2,207	2,270	4,431	32.1	34.6	82.1	23.8
3 鑛業	313	...	1	312	1.1	...	0.0	1.7
4 工業	17,882	2,014	3,962	11,906	64.4	31.6	143.3	64.0
5 商業	23,648	5,022	8,478	10,148	85.2	78.8	306.6	54.5
6 交通業	7,980	279	1,001	6,700	28.7	4.4	36.2	36.0
7 公務、自由業	9,117	282	1,050	7,785	32.9	4.4	38.0	41.8
8 家事使用人	1,218	1,218	4.4	6.5
9 其の他の有業者	5,537	7	147	5,383	19.9	0.1	5.3	28.9

註 單獨とは人に雇はれず、雇人をも使用せず、家族の補助をも受けずして、一人にて自己の業務を営むものをいふ。

2 無業 無業者は355,721人にして總人口の五割六分二厘あり。内男132,805人即ち男人口の四割九厘、女222,916人即ち女人口の七割二分三厘にして、無業者總數の男は37.3%なるに對し、女は62.7%の大多數を以て男を超過せり。而して女100人に付男は59.6人に當る。

無業者の年齢を検するに、14歳以下238,264人は總數の67.0%を占め、15-59歳102,781人即ち28.9%、60歳以上14,676人即ち4.1%なり。之を男女毎に觀るに、男は其の90.9%(120,745人)の大部分が14歳以下の幼年級なるに對し、女は52.7%(117,519人)なるを以て、男に比し女は著しく低率なり。然るに15-59歳の生産年齢級に在りては、男は7.1%(9,483人)なるに對し、女は41.9%(93,298人)の大多數を以て男を凌駕し、60歳以上の老年級に在りても亦男2.0%(2,577人)に對し、女は5.4%(12,099人)の高率を以て男を超過せり。

無業者は前述の如く幼年級のもの大多數を占むるを以て、其の配偶状態も亦未婚最も多く71.9%(255,762)を算し、之に次ぐは有配偶の20.7%(73,552)、死別の7.3%(25,877)、離別の0.1%(530)の順位なり。

配偶關係に依り分ちたる無業者

配偶關係	總數	男	女	女百に付男	配偶關係別百分比		
					總數	男	女
總數	355,721	132,805	222,916	59.6	100.0	100.0	100.0
未婚	255,762	127,061	128,701	98.7	71.9	95.7	57.7
有配偶	73,552	3,626	69,926	5.2	20.7	2.7	31.4
死別	25,877	1,989	23,888	8.3	7.3	1.5	10.7
離別	530	129	401	32.2	0.1	0.1	0.2

無業者355,721人を職業小分類に依り分てば、従属者最も多く304,740人即ち無業者總數の85.7%を占め、學生生徒38,322人即ち10.8%之に次ぎ、其の他の無業者又は職業の申告なき者11,222人即ち3.2%第三位にあり、他の各業に在る者は之を合算するも1.0%に達せざる少數なり。更に之を男女別に觀るも亦概ね同一傾向を示す。而して従属者の割合は女を多數とし、官公又は慈善團體等の救助を受くる者は男女同率にあり、他の各業に於ける割合は孰れも男を多數とす。

職業(小分類)に依り分ちたる無業者

職業	總數	男	女	女百に付男	各人口千中		
					總數	男	女
總數	355,721	132,805	222,916	59.6	1,000.0	1,000.0	1,000.0
368 恩給、年金等の收入に依る者	16	13	3	433.3	0.0	0.1	0.0
369 小作料に依る者	974	644	330	195.2	2.7	4.8	1.5
370 地代、家賃、有價證券、其の他の收入に依る者	309	190	119	159.7	0.9	1.4	0.5
371 學生、生徒	38,322	28,973	9,349	309.9	107.7	213.2	41.9
372 従属者	304,740	97,413	207,327	47.0	856.7	733.5	930.1
373 精神病院、感化院、慈善病院等に在る者	7	7	0.0	0.1	...
374 官公又は慈善團體等の救助を受くる者	100	41	59	69.5	0.3	0.3	0.3
375 在監人	31	30	1	3,000.0	0.1	0.2	0.0
376 其の他の無業者又は職業の申告なき者	11,222	5,494	5,728	95.9	31.6	41.4	25.7

3. 副業 總人口683,319人中副業を有する者28,605人あり、人口の45.2%に當る。うち其の八割五厘即ち23,041は本業ある者の第二の職業にして、爾餘の5,564は本業なき者の内職なり。而して前者は本業者總數の83.0%に當り、後者は無業者總數の15.6%に當るを以て、本業ある者の副業率は本業なき者の副業率に比し甚だ高率なり。次に男女各別に之を觀察するに、副業を有する男は人口の61.4%なるに對し、同女は人口の28.0%なるを以て男の副業率高く、次に本業ある者の副業率に在りては男103.4%なるに對し女は37.2%なるを以て男の割合多きも、本業なき者の副業率に在りては、男は僅かに0.7%の低率なるに比し、女は24.5%の高率を以て遙かに男を凌駕せり。

本業の有無に依り分ちたる副業者

本業の有無	總數	男	女	女百に付男	各人口千に付		
					總數	男	女
總數	28,605	19,956	8,649	230.7	45.2	61.4	28.0
本業ある副業者	23,041	19,861	3,180	624.6	83.0	103.4	37.2
本業なき副業者	5,564	95	5,469	1.7	15.6	0.7	24.5

本業ある副業者23,041人を其の本業に依り分てば、其の大多數は農業を本業とする者にして82.9%を占め、水産業を本業とする者6.5%は多くの懸隔を以て之に次ぎ、以下商業6.0%、工業2.2%、公務自由業1.0%、交通業0.8%、其の他の有業者0.6%、鑛業及家事使用人(各2)0.0%の順位なるも、各本業者總數に對する割合より見るときは、水産業を本業とする者の副業率第一位にあり、第二位は農業にして、以下商業、工業、其の他の有業者、公務自由業、交通業、鑛業、家事使用人の順序なり。而して家事使用人と其の他の有業者は女の副業率高きも、他の各業に在りては男の副業率著しく高し。

表側の職業を本業とする副業者

職業(本業)	總數	男	女	女百に付男	各本業者千に付		
					總數	男	女
總數	23,041	19,861	3,180	624.6	83.0	103.4	37.2
1 農業	19,104	16,108	2,996	537.7	94.1	124.8	40.5
2 水産業	1,506	1,505	1	150,500.0	169.1	170.6	11.8
3 鑛業	2	2	6.4	7.0	...
4 工業	507	473	34	1,391.2	28.4	31.4	12.1
5 商業	1,379	1,265	114	1,109.6	58.3	70.3	20.1
6 交通業	187	185	2	9,250.0	23.4	24.1	6.8
7 公務、自由業	217	207	10	2,070.0	23.8	25.0	12.2
8 家事使用人	2	...	2	...	1.6	...	1.8
9 其の他の有業者	137	116	21	552.4	24.7	24.3	27.5

副業を職業大分類別に觀察するときは、農業最も多く70.7%を占め、次は工業の13.4%とす。此の兩者は高雄州に於ける副業中主要なるものにして、以下商業6.8%、水産業3.4%、其の他の有業者3.1%、交通業1.8%、公務自由業0.8%、鑛業(6)0.0%とし、家事使用人を副業とする者なし。

之を男女別に見るに、男の最多は農業にして、商業之に次ぎ以上の兩者を以て副業總數の八割四分を占め、他の副業は極めて少なく、女の最多も亦農業にして工業之に次ぎ、此の兩者を以て副業總數の九割六分餘を算し、他の

副業は甚だ僅少なり。而して工業及公務自由業を副業とする者は女の割合多く、他の各業は孰れも男の割合多し。

職業(大分類)に依り分ちたる副業者

職業(副業)	總數	男	女	女百に付男	各人口千中		
					總數	男	女
總數	28 605	19 956	8 649	230.7	1 000.0	1 000.0	1 000.0
1 農 業	20 212	14 923	5 289	282.2	706.6	747.8	611.5
2 水 産 業	972	963	9	10 700.0	34.0	48.2	1.1
3 鑛 業	6	5	1	500.0	0.2	0.3	0.1
4 工 業	3 847	791	3 056	25.9	134.5	39.6	353.3
5 商 業	1 937	1 820	117	1 555.6	67.7	91.2	13.5
6 交 通 業	505	499	6	8 316.7	17.6	25.0	0.7
7 公務、自由業	231	153	78	196.2	8.1	7.7	9.0
8 家事使用人
9 其の他の有業者	895	802	93	862.4	31.3	40.2	10.8

更に副業を職業小分類別とし、其の主なるものゝみを挙げれば、最多は養畜業主の11,289にして副業總數の39.5%を占め、次で農耕業主4,596(16.1%)、製網工製網工(薬製品を含まず)2,148(7.5%)、畜産手助2,071(7.2%)、物品販賣業主1,452(5.1%)、其の他の農業勞務者1,316(4.6%)、農業手助771(2.7%)、漁業主724(2.5%)、撚絲工685(2.4%)、日傭(と單に申告したる者)586(2.0%)、其の他の有業者294(1.0%)等にして、他の各業は孰れも副業總數の百分の一以下にあり。

4 職業數 前述の如く本業者277,598人、無業者355,721人あり。然るに本業者中には、本業の外に尙第二の職業たる副業を有する者あり、又無業者中には、片手間に營む内職を有する者あり。而して之等の副業と本業とは、自ら輕重の差ありと雖も、而も生産機構の一部を成すに異なる所なし。以て本項に於ては之等を總括したる職業數に就き觀察せんとす。即ち本業277,598と副業28,605を合算したる306,203は所謂職業數にして、其の實際従業人員は283,162人あり、人口の四割四分七厘に當る。うち本業のみに従事する者254,557人にして従業人員の89.9%を占め、又一人にて本業たる第一位の職業と副業たる第二位の職業の兩者に従事する者23,041人(8.1%)あり、又本業なく副業(内職)にのみ従事する者5,564人(2.0%)なり。

次に職業數306,203を職業大分類に依り分てば、農業は其の數最も多く72.9

%を占め、以下商業8.3%、工業7.1%、水産業3.2%、公務自由業3.1%、交通業2.8%、其の他の有業者2.1%、家事使用人0.4%、鑛業0.1%の順序なり。

更に之を職業小分類別に總數の百分の一以上のものを挙げれば、即ち次の如くにして、之を本業の場合に比すれば、第四位に養畜業主を又第九位に畜産手助を加へたるは、兩者とも本業に於ては總數の百分の一に達せざりしも、副業に於ては養畜業主首位にあり、畜産手助は第四位を占むるの大多數なるを以てなり。商業手助の漁業主の下位に降りたるは、漁業主を副業とする者は大多數を以て商業手助を副業とする者を凌駕し、又露店(屋臺店を含む)商人行商人呼賣商人の日傭(と單に申告したる者)の下位に降りたるは、前者を副業とする者は副業總數の百分の一に達せざる少數なるがためにして、又仲仕荷扱夫運搬夫の數は本業の場合に於ては其の百分の一以上なりしも、之を副業とする者極めて少なきため職業數の百分の一に達せず。

職業(小分類)に依り分ちたる職業數 (百分の一以上)

職 業	職業數	職業別百分比例	職 業	職業數	職業別百分比例
5 農 業 手 助	112 268	36.7	268 商 業 手 助	5 093	1.7
1 農 耕 業 主	68 788	22.5	3 作 男、 作 女	4 077	1.3
4 其の他の農業勞務者	20 148	6.6	12 畜 産 手 助	4 035	1.3
8 養 畜 業 主	11 717	3.8	366 日傭(と單に申告したる者)	3 748	1.2
263 物 品 販 賣 業 主	9 981	3.3	271 露店(屋臺店を含む) 商人、行商人、呼賣商人	3 719	1.2
25 漁 業 主	5 201	1.7	28 漁 業 手 助	3 272	1.1

註 職業分類に就ては卷末附録「職業分類」参照すべし。

産業

本調査に於ては、本業の所屬する産業に就てのみ之を調査せり。而して本項に於て單に産業と稱するは、産業大分類1乃至9を指稱するものにして、又有業者と稱するは之に所屬する者なり。今本業277,598を其の所屬する産業の種類に依り區別するときは、農業に所屬するもの最も多く204,466即ち總數の73.7%を占め、以下商業9.8%、工業6.3%、公務自由業3.9%、水産業3.4%、交通業2.2%、家事0.5%、鑛業及其の他の産業各0.1%の順位とす。男女別に之を觀れば、男女とも其の最多は農業にして、男に在りては其の67.8%を占め、女に在りては其の86.9%に當る。以下男に於ては商業、工業、公務自由業、水産業、交通業、鑛業、其の他の産業、家事の順位にして、又女に於ては農業に次

で商業、工業、家事、公務、自由業、水産業、交通業、其の他の産業、鑛業の順序なり。而して總數の場合に比し女の割合多きものは、農業と家事にして他の各業に在りては孰れも男の割合多し。次に各業に於ける男女の權衡は、家事の女100人に對する男16.0人の割合は女の超過なるも、他の各業に於ては孰れも男の超過にして、就中交通業と水産業に於ける男の超過著しく、鑛業、公務、自由業、工業等に於ける男は女の5倍以上に當る。

産業(大分類)に依り分ちたる有業者

産業	總數	男	女	女百に 付男	各人口千中		
					總數	男	女
總數	277,598	192,070	85,528	224.6	1,000.0	1,000.0	1,000.0
1 農業	204,466	130,150	74,316	175.1	736.6	677.6	869.0
2 水産業	9,331	9,234	97	9519.6	33.6	48.1	1.1
3 鑛業	317	290	27	1074.1	1.1	1.5	0.3
4 工業	17,616	14,803	2,813	526.2	63.5	77.1	32.9
5 商業	27,298	21,338	5,960	358.0	98.3	111.1	69.7
6 交通業	6,134	6,071	63	9636.5	22.1	31.6	0.7
7 公務、自由業	10,795	9,752	1,043	935.0	38.9	50.8	12.2
8 家事	1,333	184	1,149	16.0	4.8	0.9	13.4
9 其の他の産業	308	248	60	413.3	1.1	1.3	0.7

州下に於ける産業の分布状態を検するに、農業に在りては潮州郡、屏東郡、岡山郡、鳳山郡、旗山郡、東港郡の順序に總數の二割一分乃至一割一分を算し、恒春郡と高雄市に於ける割合は孰れも其の以下とす。水産業に在りては岡山、東港、鳳山、高雄の四市郡を以て既に總數の九割三分を算し、他の各郡に於ける割合は極めて僅少なり。鑛業に在りては高雄市に於て總數の八割八分を算し、其の他の地方に於ては極めて僅少にして、鳳山、旗山、恒春の各郡には鑛業全くなし。工業に在りては高雄市、屏東郡、岡山郡、鳳山郡に於て總數の七割四分を占め、他の各郡に於ける工業は孰れも總數の八分(東港郡)以下とす。商業に在りては高雄市、岡山郡、屏東郡、鳳山郡に於て總數の七割三分を算し、他の地方に於ては孰れも總數の一割以下とす。交通業に在りては高雄市及屏東郡に於て總數の五割九分を算し、他の各郡に於ける割合は孰れも總數の一割以下とす。公務自由業に在りては高雄市に於て總數の二割七分を占め、屏東郡の二割六分、岡山郡の一割一分等之に次ぎ、他の各郡に於ける割合は孰れも總數の一割以下とす。家事に在りては高雄市、屏東

郡、岡山郡、東港郡の順序に總數の三割乃至一割二分を算し、他の各郡に於ては孰れも總數の一割以下とす。其の他の産業に在りては岡山郡、高雄市、屏東郡、東港郡の順序に總數の三割四分乃至一割を算し、他の地方に於ては孰れも總數の一割以下なり。之を要するに州下に於ける産業の17.8%は屏東郡に集中し、潮州郡の16.7%、岡山郡の15.7%、鳳山郡の13.6%、旗山郡の11.8%、東港郡の10.9%等は孰れも一割以上を占め、以下高雄市の8.1%、恒春郡の5.1%とし、水面に於ける0.3%を最少とす。

産業(大分類)に依り分ちたる市郡別有業者の割合

市、郡	總數	市郡別百分比例								
		1 農業	2 水産業	3 鑛業	4 工業	5 商業	6 交通業	7 公務、自由業	8 家事	9 其の他の産業
總數	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
高雄市	8.1	1.3	13.2	88.0	30.2	24.4	46.0	27.1	30.2	19.5
岡山郡	15.7	14.8	43.7	1.9	13.3	18.3	9.1	10.8	12.4	34.0
鳳山郡	13.6	14.2	14.5	...	13.2	12.5	7.9	9.2	5.2	8.8
旗山郡	11.8	13.8	0.0	...	7.4	7.6	5.5	6.7	6.6	2.9
屏東郡	17.8	18.4	0.1	0.3	17.6	17.6	12.9	25.7	25.6	13.6
潮州郡	16.7	20.5	0.6	9.5	6.2	7.9	3.1	7.7	5.2	7.5
東港郡	10.9	11.2	22.0	0.3	7.8	8.6	5.9	8.5	11.7	10.1
恒春郡	5.1	5.8	1.0	...	4.3	3.1	1.7	4.2	3.1	3.6
水面	0.3	...	4.9	...	0.0	0.0	7.9	0.1

以上は總數に對する各市郡の割合にして、人口多き地方に産業も亦多く、人口寡き地方に産業も亦比較的少なかるべきは勿論なり。然るに水面は之を措き、今各市郡に於ける産業總數を各其の人口の多寡に對比せしむれば、即ち1,000人に對する比率の最も大なるは潮州郡に於ける545.9とし、次で恒春郡の498.9、旗山郡の493.6、屏東郡の471.0、鳳山郡の435.5、東港郡の382.6、岡山郡の364.9、高雄市の357.4の如くにして、州下八市郡中人口に於て第四位にある潮州郡首位にあり、人口最も多き岡山郡の比率は第七位に下り、又人口に於て第八位にある恒春郡の比率第二位に、及人口に於て第六位にある旗山郡の第三位に上りたるが如く不定型の現象を見る。以上に依つて考ふるに、人口多き地方に比較的産業の數多きも、産業率の高低は人口の多寡を以て直ちに論斷し得ざるなり。

産業大分類別有業者の年齢を検するに、農業に在りては14歳以下の幼年級8.3%あり、15—19歳に於て20.0%に激増して最高率を示せるも、爾餘は年齢級の上昇に伴ひて漸減し、60歳以上の2.2%に至る。水産業に在りては14歳以下の幼年級0.8%あり、15—19歳に於て11.4%に激増し、20—24歳に於ては更に16.0%に昇騰して最高率を示すも、以後は漸次減少して60歳以上の2.2%に至る。鑛業に在りては14歳以下の幼年級0.6%あり、15—19歳に於ては1.7%に激増し、20—24歳に於ては更に17.4%に増加して最高率を示すも、爾餘は漸次減少し60歳以上の0.6%に至る。工業に在りては14歳以下の幼年級3.4%あり、15—19歳に於ては14.9%に激増し、20—24歳に於ては更に17.3%となり最高率を示すも、爾後は遞減して60歳以上の1.5%に至る。商業に在りては14歳以下の幼年級4.1%あり、15—19歳に於ては16.3%に激増して最高率を示すも、爾餘は漸減して60歳以上の2.1%に至る。交通業に在りては14歳以下の幼年級0.5%あり、15—19歳に於ては10.6%に増加し、20—24歳に於ては更に20.0%となり最高率を示すも、以後は漸減して60歳以上の0.9%に至る。公務自由業に在りては14歳以下の幼年級1.9%あり、15—19歳に於ては13.9%に増加し、20—24歳に於ては更に昇騰して20.6%となり最高率を示すも、以後は漸次減少して60歳以上の1.7%に至る。家事に在りては14歳以下の幼年級28.0%の高率を示し、15—19歳に於ける29.2%を以て最高率とし、爾後は40—44歳に例外ある外漸次減少し55—59歳の1.4%に至り、60歳以上は1.7%あり。其の他の産業に在りては14歳以下の幼年級5.5%あり、爾餘は高低稍々不規則にして45—49歳の12.3%を以て最高率とし、それより漸次低下して60歳以上の5.5%に至る。

之を男女各別に見れば、男に於ける農業は15—19歳、他の各業は其の他の産業に例外ある外孰れも20—24歳を最多とす。又女に在りては家事と其の他の産業に例外ある外、各業を通じて男より一階級を下りたる15—19歳を最高率とす。

産業(大分類)及年齢(十一區分)に依り分ちたる有業者の割合

年齢	年齢別百分比例									
	總數	1 農業	2 水産業	3 鑛業	4 工業	5 商業	6 交通業	7 公務、 自由業	8 家事	9 其の他 の産業
總數	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0
0—14	7.0	8.3	0.8	0.6	3.4	4.1	0.5	1.9	28.0	5.5
15—19	18.6	20.0	11.4	11.7	14.9	16.3	10.6	13.9	29.2	11.0
20—24	15.7	15.2	16.0	17.4	17.3	15.4	20.0	20.6	11.4	11.4
25—29	12.7	11.8	15.4	16.4	16.5	13.6	18.4	17.9	7.0	7.8
30—34	11.3	10.5	14.6	15.5	14.3	12.4	14.9	13.2	6.2	9.1
35—39	9.6	9.0	12.2	15.2	11.6	11.0	12.3	10.4	4.3	12.0
40—44	8.5	8.3	10.1	9.1	8.4	9.4	10.1	8.3	5.2	11.4
45—49	7.1	7.2	8.6	8.8	6.2	7.6	6.9	6.0	3.4	12.3
50—54	4.7	4.8	5.4	4.1	3.7	5.2	3.7	3.7	2.2	7.5
55—59	2.7	2.7	3.3	0.6	2.2	2.9	1.7	2.4	1.4	6.5
60以上	2.1	2.2	2.2	0.6	1.5	2.1	0.9	1.7	1.7	5.5

産業大分類別有業者の配偶状態は未婚97,271(35.1%)、有配偶157,986(56.9%)、死別19,210(6.9%)、離別3,131(1.1%)にして、其の所屬せる各業別に之を觀察するに、總數の場合に比し未婚の割合多きものは家事、其の他の産業、農業、公務自由業にして67.5%乃至35.5%の間にあり、工業の34.8%以下水産業の26.3%に至る各業の割合は總數の場合に比し低率なり。又有配偶の割合多きものは水産業、交通業、鑛業、公務自由業、商業、工業にして67.3%乃至57.4%の間にあり、農業の56.1%、其の他の産業の41.9%、家事の20.4%は其の割合少なし。死別は其の他の産業の20.4%、家事の10.0%、農業の7.3%は總數の場合に比し其の割合多く、商業の6.6%以下交通業の3.5%に至る各業の割合は孰れも低率なり。離別は家事、工業、水産業、商業の2.1%乃至1.2%は孰れも總數の場合に比し高率にして、農業は總數と同率にあり、公務自由業の1.0%乃至鑛業の0.6%の間にある各業は孰れも其の割合少なし。

産業(大分類)及配偶関係に依り分ちたる有業者

産 業	總數	配偶關係別百分比								
		未婚	有配偶	死別	離別					
總 數	277 598	97 271	157 986	19 210	3 131	100.0	35.1	56.9	6.9	1.1
1 農 業	204 466	72 590	114 743	14 880	2 253	100.0	35.5	56.1	7.3	1.1
2 水 産 業	9 331	2 453	6 283	483	112	100.0	26.3	67.3	5.2	1.2
3 鑛 業	317	96	204	15	2	100.0	30.3	64.4	4.7	0.6
4 工 業	17 616	6 139	10 109	1 130	238	100.0	34.8	57.4	6.4	1.4
5 商 業	27 298	9 323	15 846	1 793	336	100.0	34.2	58.0	6.6	1.2
6 交 通 業	6 134	1 827	4 036	215	56	100.0	29.8	65.8	3.5	0.9
7 公務、自由業	10 795	3 830	6 364	498	103	100.0	35.5	58.9	4.6	1.0
8 家 事	1 333	900	272	133	28	100.0	67.5	20.4	10.0	2.1
9 其の他の産業	308	113	129	63	3	100.0	36.7	41.9	20.4	1.0

産業大分類別有業者の職業を検するに、農業204,466中農業を職業とする者99.1%を占め、其の他の有業者0.7%之に次ぎ、他の職業の者は極めて少なく、水産業、鑛業、家事使用人を職業とする者なし。水産業9,331中水産業を職業とする者95.4%を占め、次で其の他の有業者3.2%にして、其の他の職業の者は甚だしく、農業、鑛業、家事使用人を職業とする者なし。鑛業317中鑛業を職業とする者89.0%あり、工業及交通業各4.4%、其の他の有業者1.9%、公務自由業0.3%あり、他の職業の者なし。工業17,616中工業を職業とする者83.7%を占め、次で其の他の有業者7.6%、交通業及公務自由業各3.4%にして、他の職業の者は極めて少なく、水産業と家事使用人を職業とする者なし。商業27,298中商業を職業とする者85.8%を占め、次で工業4.2%、公務自由業4.1%、交通業3.9%、其の他の有業者1.9%、農業0.1%にして、水産業、鑛業、家事使用人を職業とする者なし。交通業6,134中交通業を職業とする者82.5%を占め、次で工業7.7%、公務自由業5.3%、其の他の有業者3.6%、商業0.9%、農業0.0%(2)にして、他の職業の者なし。公務自由業10,795中公務自由業を職業とする者64.9%を占め、次で其の他の有業者12.5%、工業12.0%、交通業8.5%等にして、他の職業の者は極めて少なく、鑛業と家事使用人を職業とする者なし。家事1,333中家事使用人を職業とする者91.4%を占め、次で其の他の有業者4.2%、交通業2.0%、工業1.6%等にして、他の職業の者は極めて少なく、水産業、鑛業を職業とする者なし。其の他の産業308中其の他の有業者を職業とする者93.8%を占め、

次で商業2.3%、交通業2.0%、公務自由業1.3%等にして他の職業の者は極めて少なく、水産業、鑛業、家事使用人を職業とする者なし。

有業者を更に産業小分類に分ち、其の主なるものを挙げれば、農作一自作(78,884)は其の數最も多く、總數の28.4%に當り、次は農作一小作(76,676)の27.6%、農作一自作兼小作(37,961)13.7%にして以下漁撈採藻、園藝、各種物品販賣、地方事務(他に分類せられざる)の順序に8,615乃至3,041の間にあり3.1%乃至1.1%の割合を示し、他の各業に在りては孰れも總數の百分の一以下とす。

産業(小分類)に依り分ちたる有業者 (百分の一以上)

産 業	實數	割合 %	産 業	實數	割合 %
1 農 作 一 自 作	78 884	28.4	4 園 藝	6 945	2.5
2 農 作 一 小 作	76 676	27.6	210 各種物品販賣	3 834	1.4
3 農作一自作兼小作	37 961	13.7	248 地方事務(他に分類せられざる)	3 041	1.1
15 漁 撈、採 藻	8 615	3.1			

産業上の地位に就ては職業の部に於て記したるが如く、雇主63,749(23.0%)、單獨27,650(10.0%)、使用人186,199(67.0%)にして、之を産業大分類別に觀察するも亦孰れも使用人最も多數を占む。今其の割合の多き順序に挙げれば家事、鑛業、公務自由業、交通業、農業、工業、水産業、商業、其の他の産業にして、家事は其の全部其の他の各業は其の99.7%乃至50.3%とす。而して農業に在りては使用人に次ぎ雇主の割合第二位にあり、單獨の割合は第三位とするも、他の各業に在りては孰れも單獨の割合第二位にあり、雇主の割合は第三位なり。

産業(大分類)及産業上の地位に依り分ちたる有業者

産業	總數	雇主	單獨	使用人	産業上の地位別百分比例			
					總數	雇主	單獨	使用人
總數	277,598	63,749	27,650	186,199	100.0	23.0	10.0	67.0
1 農業	204,466	53,939	10,740	139,787	100.0	26.4	5.2	68.4
2 水産業	9,331	2,209	2,270	4,852	100.0	23.7	24.3	52.0
3 鑛業	317	...	1	316	100.0	...	0.3	99.7
4 工業	17,616	2,013	3,962	11,641	100.0	11.4	22.5	66.1
5 商業	27,298	5,026	8,479	13,793	100.0	18.4	31.1	50.5
6 交通業	6,134	277	1,001	4,856	100.0	4.5	16.3	79.2
7 公務、自由業	10,795	277	1,052	9,466	100.0	2.6	9.7	87.7
8 家事	1,333	1,333	100.0	100.0
9 其他の産業	308	8	145	155	100.0	2.6	47.1	50.3

註 産業分類に就ては巻末附録「産業分類」参照すべし。

失業

失業者は總數1,622人あり、人口1,000人に付2.6人に當る。而して其の大部分は男にして1,157人即ち71.3%を占め、女は僅かに465人即ち28.7%に過ぎず。次に各市郡別に之を觀れば、鳳山郡に於ける420人は其の數最も多く、失業者總數の25.9%を占め、以下潮州郡に於ける19.5%、高雄市に於ける18.2%、旗山郡に於ける15.8%、岡山郡に於ける11.3%、屏東郡に於ける4.6%、東港郡に於ける3.0%、恒春郡に於ける1.6%、水面に於ける0.1%とす。然るに之を各市郡別人口の多寡に對比せしむれば、即ち人口1,000人に對する割合の最も大なるは依然鳳山郡の4.8人にして、高雄市の4.7人、旗山郡の3.9人、潮州郡の3.7人等は孰れも總數の場合に比し高率にして、岡山郡の1.5人、恒春郡の0.9人、屏東郡の0.7人、東港郡の0.6人等は孰れも低率なり。因に水面に於ける失業者(2人)の同割合は2.1人とす。

— 空欄 —

市郡に依り分ちたる失業者

市、郡	總數	男	女	女百に付男	各人口千に付		
					總數	男	女
總數	1,622	1,157	465	248.8	2.6	3.6	1.5
高雄市	295	278	17	1635.3	4.7	8.3	0.6
岡山郡	184	141	43	327.9	1.5	2.3	0.7
鳳山郡	420	308	112	275.0	4.8	6.9	2.7
旗山郡	256	172	84	204.8	3.9	5.1	2.6
屏東郡	74	58	16	362.5	0.7	1.1	0.3
潮州郡	317	152	165	92.1	3.7	3.6	3.9
東港郡	48	29	19	152.6	0.6	0.7	0.5
恒春郡	26	17	9	188.9	0.9	1.2	0.6
水面	2	2	2.1	2.1	...

失業者を本籍、民籍又は國籍に依り分てば、本島人最も多く1,480人即ち91.3%を占め、内地人119人即ち7.3%之に次ぎ、外國人21人(1.3%)、朝鮮人2人(0.1%)の順序とす。次に各人口1,000人に對する割合を求むれば、朝鮮人の12.4人は甚だ高率にして、内地人の4.2人及外國人の3.0人も亦高雄州平均2.6人より多く、本島人の2.5人は州平均より低率なり。

失業者1,622人の年齢を検するに、20—29歳級最も多く29.0%あり、次で19歳以下の23.1%、30—39歳級の22.8%、40—49歳級の17.4%、50—59歳級の6.1%、60歳以上の1.6%とす。更に之を有業者の同年齡級に對比せしむれば、19歳以下の有業者1,000人に對する同年齡級の失業者は5.3人に當り、20—29歳級に於ては6.0人、30—39歳級に於ては6.4人の如く漸増し、40—49歳級に於ける6.5人を以て最高率とし、爾後は遞減して50—59歳級に於ける4.8人、60歳以上に於ける4.3人とす。

失業者を失業當時の職業に依り大分類すれば、農業802人は其の數最も多く、失業者總數の49.5%あり、次は其の他の有業者378人即ち23.3%にして、以下工業8.8%、交通業7.5%、商業5.1%、公務自由業3.1%、水産業2.3%、鑛業0.3%、家事使用人0.1%の順序とす。斯の如く農業及其の他の有業者に失業者多きは、前者に在りては其の他の農業勞務者の失業786人(48.5%)、後者に在りては日傭勞働者の失業358人(22.1%)といふが如く特に多數あるを以てなり。

職業(大分類)に依り分ちたる失業者

職業	總數	男	女	女百に付男	職業別百分比例		
					總數	男	女
總數	1 622	1 157	465	248.8	100.0	100.0	100.0
1 農業	802	491	311	157.9	49.5	42.5	66.8
2 水産業	37	37	2.3	3.2	...
3 鑛業	5	5	0.3	0.4	...
4 工業	143	132	11	1 200.0	8.8	11.4	2.4
5 商業	83	31	52	59.6	5.1	2.7	11.2
6 交通業	122	118	4	2 950.0	7.5	10.2	0.9
7 公務、自由業	50	50	3.1	4.3	...
8 家事使用人	2	...	2	...	0.1	...	0.4
9 其の他の有業者	378	293	85	344.7	23.3	25.3	18.3

次に本籍、民籍又は國籍別に之を見れば、内地人の失業者119人中、工業の33人、公務自由業の26人は其の主なるものにして、此の兩者を以て既に四割九分五厘を占め、以下水産業20人、交通業19人、商業及其の他の有業者各9人、農業3人なり。朝鮮人の失業者は水産業2人のみとす。本島人の失業者1,480人中、農業の796人及其の他の有業者の367人は其の主なるものにして、此の兩者を以て既に七割八分六厘に及ぶ。外國人の失業者21人は商業7人、工業5人、農業及交通業各3人、其の他の有業者2人、公務自由業1人なり。而して更に各本業者1,000人に對する失業率を求むれば、其の他の有業者の68.3人は各業中の首位にあり、以下鑛業の16.0人、交通業の15.3人、工業の8.0人等は孰れも總數の5.8人に比し高率なるも、公務自由業の5.5人、水産業の4.2人、農業の4.0人、商業の3.5人、家事使用人の1.6人等は孰れも低率なり。然るに今回の調査に於ける失業者は、給料生活者又は勞働者に就てのみ調査したるを以て、更に局限して本業ある者のうち産業上使用人の地位にある者186、199人に對する割合を見れば1,000人に付8.7人に當る。各職業別に之を觀れば其の他の有業者の70.2人は總數の場合に比し著しく高率にして、交通業の18.2人、鑛業の16.0人、工業の12.0人も亦其の割合多く、水産業(8.4人)、商業(8.2人)、公務自由業(6.4人)、農業(5.8人)、家事使用人(1.6人)等は孰れも低率なり。

出生地

總人口633,319人を出生地に依り分てば、本島内に於て出生したる者608,097人は其の數最も多く總人口の九割六分を占む。蓋し本島人は殆んど全く本島に於て生れたる者なり。加之内地人及外國人等にして、島内に於て生れたる者も亦尠なからざるに依り、本島出生者の數斯の如く多數を算するものとす。本島出生の者を更に自州廳(高雄州)出生と他州廳出生とに區別すれば、其の大部分は前者にして、後者は僅かに總人口の六分九厘に過ぎず。本島出生に次ぐは内地出生なるも、其の數遙かに少なく19,038人即ち三分にして、次は外國出生の5,992人即ち一分とし、以下朝鮮出生180人、樺太出生及關東州出生各4人、水上出生及出生地不詳各2人とす。

出生地に依り分ちたる人口

出生地	總數	男	女	女百に付男	出生地別百分比例			
					總數	男	女	
總數	633 319	324 875	308 444	105.3	100.0	100.0	100.0	
島内出生	總數	608 097	309 289	298 808	103.5	96.0	95.2	96.9
	自州廳出生	564 659	285 370	279 289	102.2	89.1	87.8	90.6
	他州廳出生	43 438	23 919	19 519	122.5	6.9	7.4	6.3
其の他出生	總數	25 222	15 586	9 636	161.7	4.0	4.8	3.1
	内地出生	19 038	10 802	8 236	131.2	3.0	3.3	2.7
	朝鮮出生	180	65	115	56.5	0.0	0.0	0.0
	樺太出生	4	2	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	關東州出生	4	2	2	100.0	0.0	0.0	0.0
	外國出生	5 992	4 714	1 278	368.9	1.0	1.5	0.4
	水上出生	2	1	1	100.0	0.0	0.0	0.0
出生地不詳	2	...	2	...	0.0	...	0.0	

更に之を本籍、民籍又は國籍別に觀察するに、内地人に在りては、其の六割七分一厘は内地出生にして、本島出生三割二分六厘あり、他は外國出生48人、朝鮮出生22人、樺太出生及關東州出生各4人、水上出生2人とす。朝鮮人に在りては、本島出生3人を除く外總て朝鮮出生なり。本島人に在りては、其の殆ど全部が本島出生にして、外國出生184人、内地出生26人、出生地不詳2人とす。外國人に在りては、其の八割二分二厘は外國出生にして、他は總て本

島出生なり。

不具者

不具者は聾啞、盲、白痴、瘋癲の四種に限り之を調査せり。但し聾啞には聾のみの者又は啞のみの者を含み、盲は兩眼とも盲したる者に限り、又白痴及瘋癲は世人の一般に之を認め得る程度とす。

高雄州に於ける不具者は總數4,057人あり、中男2,004人にして總數の49.4%あり、女は2,053人即ち50.6%なり。而して各人口1,000人に對する割合は總數6.4人にして、男は6.2人、女は6.7人なり。

不具者總數4,057人を不具の種類に依り分てば、最多は盲の2,884人にして總數の71.1%を占め、次は聾啞の755人即ち18.6%にして、以下白痴の200人即ち4.9%、瘋癲の185人即ち4.6%、二種以上の不具を兼ねる者33人即ち0.8%とす。

不具の種類に依り分ちたる不具者

不具の種類	總數	男	女	女百に付男	不具の種類別百分比例			
					總數	男	女	
總數	4057	2004	2053	97.6	100.0	100.0	100.0	
一種の者	聾啞	755	433	322	134.5	18.6	21.6	15.7
	盲	2884	1293	1591	81.3	71.1	64.5	77.4
	白痴	200	149	51	292.2	4.9	7.4	2.5
	瘋癲	185	116	69	168.1	4.6	5.8	3.4
二種以上の不具を兼ねる者	33	13	20	65.0	0.8	0.7	1.0	

不具者を各市郡別に見れば、岡山郡の859人は其の數最も多く21.2%を占め、次で鳳山郡の645人(15.9%)、屏東郡の572人(14.1%)、東港郡の553人(13.6%)、潮州郡の543人(13.4%)、旗山郡の478人(11.8%)、高雄市の250人(6.2%)、恒春郡の156人(3.8%)の順序なるも、之を各人口の多寡に對比せしむれば、人口1,000人に對する割合の最も大なるは鳳山郡の7.4人にして、岡山郡及旗山郡の各7.2人之に次ぎ、以下東港郡(7.0人)、潮州郡(6.4人)、恒春郡(5.5人)、屏東郡(5.4人)、高雄市(4.0人)、水面(1.0人)の順序なり。

市郡に依り分ちたる不具者

市、郡	總數	一種の者				二種以上の不具を兼ねる者	各人口千に付					
		聾啞	盲	白痴	瘋癲		總數	聾啞	盲	白痴	瘋癲	二種以上の不具を兼ねる者
總數	4057	755	2884	200	185	33	6.4	1.2	4.5	0.3	0.3	0.1
高雄市	250	48	158	18	23	3	4.0	0.8	2.5	0.3	0.4	0.0
岡山郡	859	124	673	27	31	4	7.2	1.0	5.7	0.2	0.3	0.0
鳳山郡	645	136	439	25	29	16	7.4	1.6	5.0	0.3	0.3	0.2
旗山郡	478	112	309	29	27	1	7.2	1.7	4.7	0.4	0.4	0.0
屏東郡	572	131	374	40	23	4	5.4	1.2	3.6	0.4	0.2	0.0
潮州郡	543	97	396	25	23	2	6.4	1.1	4.7	0.3	0.3	0.0
東港郡	553	79	422	25	24	3	7.0	1.0	5.4	0.3	0.3	0.0
恒春郡	156	27	113	11	5	...	5.5	0.9	4.0	0.4	0.2	...
水面	1	1	1.0	1.0

不具者を本籍、民籍又は國籍に依り區別すれば、本島人4,021人は總數の九割九分一厘を占め、内地人25人、外國人11人にして、朝鮮人には不具者なし。次に各人口1,000人に對する割合を見るに、本島人の6.7人は總數の6.4人に比し稍々高率なるも、外國人の1.6人及内地人の0.9人は著しく低率なり。因に内地人に在りては聾啞10人最も多く40.0%あり、白痴8人、盲4人、瘋癲2人、二種以上の不具を兼ねる者1人あり。本島人に在りては盲2,876人最も多く71.5%を占め、聾啞741人、白痴180人、瘋癲182人等相次ぎ、二種以上の不具を兼ねる者32人あり。外國人に在りては聾啞及盲各4人、白痴2人、瘋癲1人にして二種以上の不具を兼ねる者なし。

不具者の年齢を検するに、50—59歳の者最も多く不具者總數の二割に當り、次は40—49歳の一割九分にして、以下60—69歳一割七分、70歳以上及30—39歳各一割二分、20—29歳九分、10—19歳八分にして、9歳以下の三分は其の割合最も少なし。而して二種以上の不具を兼ねる者は姑く之を措き、不具の種類別に之を見れば、聾啞は10—19歳乃至40—49歳に在る者の割合多く、總數の六割六分餘に當る。盲は40—49歳以上に在る者の割合多く、總數の七割八分あり。白痴は10—19歳乃至40—49歳に在る者の割合多く、總數の八割一分に及ぶ。瘋癲は20—29歳乃至50—59歳に在る者の割合多く、總數の八割三分を占む。

年齢(八區分)に依り分ちたる不具者

年齢	總數	一種の者					二種以上の不具を兼ねる者	年齢級別百分比例					
		聾啞	盲	白痴	瘋癲	總數		聾啞	盲	白痴	瘋癲	二種以上の不具を兼ねる者	
總數	4057	755	2884	200	185	33	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	100.0	
0-9	131	68	47	10	3	3	3.2	9.0	1.6	5.0	1.6	9.1	
10-19	345	180	116	31	16	2	8.5	23.9	4.0	15.5	8.7	6.1	
20-29	361	112	173	52	22	2	8.9	14.8	6.0	26.0	11.9	6.1	
30-39	481	108	302	32	35	4	11.9	14.3	10.5	16.0	18.9	12.1	
40-49	761	101	552	46	57	5	18.7	13.4	19.2	23.0	30.8	15.1	
50-59	796	76	654	20	39	7	19.6	10.1	22.7	10.0	21.1	21.2	
60-69	688	57	609	8	12	2	17.0	7.5	21.1	4.0	6.5	6.1	
70以上	494	53	431	1	1	8	12.2	7.0	14.9	0.5	0.5	24.2	

不具者の配偶状態を見るに、最多は死別の37.0%にして、有配偶35.0%、未婚26.1%相次ぎ、離別1.9%は其の數最も少なし。不具の種類別に之を見るも亦、各種類とも離別の割合最も少なく、聾啞に在りては未婚最も多く有配偶、死別之に次ぐ。盲に在りては死別最も多く、有配偶之に次ぎ未婚は第三位とす。白痴に在りては未婚其の過半を占め、有配偶、死別相次ぐ。瘋癲に在りては有配偶を最多とし、未婚、死別之に次ぐ。二種以上の不具を兼ねる者に在りては死別、未婚、有配偶の順序とす。

配偶關係に依り分ちたる不具者

不具の種類	總數	配偶關係別百分比例				配偶關係別百分比例					
		未婚	有配偶	死別	離別	總數	未婚	有配偶	死別	離別	
總數	4057	1060	1419	1502	76	100.0	26.1	35.0	37.0	1.9	
一種の者	聾啞	755	375	207	158	15	100.0	49.7	27.4	20.9	2.0
	盲	2884	476	1086	1283	39	100.0	16.5	37.6	44.5	1.4
	白痴	200	133	46	12	9	100.0	66.5	23.0	6.0	4.5
	瘋癲	185	66	72	35	12	100.0	35.7	38.9	18.9	6.5
二種以上の不具を兼ねる者	33	10	8	14	1	100.0	30.3	24.3	42.4	3.0	

不具者4,057人を職業の有無に依り分てば、其の大部分は無業者にして3,243人即ち79.9%あり、有業者は814人即ち20.1%なり。男女別に之を見れば男に在りては、總數の場合に比し無業者の割合稍々少なく65.3%にして、有

業者は34.7%を示すも、女に在りては有業者の割合甚だ少なく、僅かに5.7%に過ぎずして、無業者は94.3%の大多數を占む。次に不具の種類別に其の有業率を比較するに、聾啞に於ける其の45.2%は有業者の割合最も多く、次で白痴に於ける其の22.5%、二種以上の不具を兼ねる者15.2%、盲に於ける其の13.8%、瘋癲に於ける其の13.5%の順序なり。而して有業者814人を職業大分類に依り分てば、農業527人は其の數最も多く、公務自由業138人之に次ぎ、以下商業48人、水産業44人、工業26人、其の他の有業者22人、交通業7人、家事使用人2人の順序にして、鑛業を職業とする者なし。

不具數 以上述べたるが如く不具者は總數4,057人にして、うち二種以上の不具を兼ねる者33人あり。而して此の二種以上の不具を兼ねる者は、總て二種の不具を兼ねる者なり。今之を其の種類別に細別すれば、聾啞と盲の二種を兼ねる者26人、聾啞と白痴の二種を兼ねる者3人、盲と白痴の二種を兼ねる者1人、盲と瘋癲の二種を兼ねる者3人なるを以て、之に一種の不具を合算して不具の延數を求むれば、盲2,914、聾啞784、白痴204、瘋癲188にして總數4,090なり。

内地人の本籍

内地人28,329人を其の本籍地に依り分てば、鹿児島縣最も多く3,535人あり、熊本縣の3,127人を第二位とし、第三位は福岡縣の1,598人にして、次で山口縣の1,415人、廣島縣の1,377人、佐賀縣の1,170人、長崎縣の1,042人等にして、沖繩、東京、大阪、宮崎、宮城、愛媛、大分、兵庫、岡山、新潟の二府八縣は978人乃至517人、静岡、高知、愛知、和歌山、岐阜、島根、茨城、福島、石川の九縣は472人乃至311人、千葉、三重、神奈川、京都、香川、滋賀、長野、栃木、群馬、徳島、福井、山形、岩手、富山、北海道、鳥取、山梨、埼玉、奈良の一府一道十七縣は287人乃至117人にして、秋田縣の93人、青森縣の54人の順位とす。

内地人の在臺年數

在臺年數は内地人にして、本島に寄留する者に就き其の始めて本島に住居を定めたる年又は本島に於て出生したる年より起算し、昭和五年十月一日に至る間を暦年に依り、一年未滿は之を一年として計算したり。但し一年以上引續き本島を離れたる者に就ては其の期間を控除せり。

而して内地人總數 28,329 人中、常住地が本島外に在る一時現在者 854 人を除外せる 27,475 人の在臺年數を檢するに、40 年即ち少なくとも明治二十四年頃より在留する者 1 人あり、39 年の者 2 人、38 年の者 5 人、37 年の者 2 人にして、36 年の者に至りて俄然 61 人に増加せるは、蓋し改隸の年たる明治二十八年頃より在留する者なるを以てなり。而してそれより明治三十七年に至る十箇年間即ち在臺年數 36 年乃至 27 年の者は平均 117 人あり、次の十箇年間即ち在臺年數 26 年(明治三十八年)乃至 17 年(大正三年)の者は平均 467 人あり、次の十箇年間即ち在臺年數 16 年(大正四年)乃至 7 年(大正十三年)の者は平均 986 人あり、次は最近六箇年間即ち在臺年數 6 年(大正十四年)乃至 1 年(昭和五年)の者は平均 1,961 人の如く、在臺年數の久しきに従つて其の數を減じ、又反對に在臺年數の短きに従つて其の數を増すは當然の現象といふべく、在臺年數 8 年(大正十二年)以下に於て既に總數の過半に達し、就中在臺年數 1 年(昭和五年)の者は十月以降の三箇月を含まざるにも拘はらず 2,371 人即ち總數の八分五厘あり第二位を占む。

在臺年數に依り分ちたる内地人

在臺年數	總數	男	女	女百に 付男	在臺年數別百分比		
					總數	男	女
總數	27 475	14 699	12 776	115.1	100.0	100.0	100.0
1 年	2 371	1 362	1 009	135.0	8.5	9.3	7.9
2 年	2 479	1 389	1 090	127.4	8.9	9.5	8.5
3 年	2 245	1 220	1 025	119.0	8.1	8.3	8.0
4 年	1 807	964	843	114.4	6.6	6.6	6.6
5 年	1 456	765	691	110.7	5.3	5.2	5.4
6 年	1 407	713	694	102.7	5.1	4.9	5.4
7 年	1 311	707	604	117.1	4.8	4.8	4.7
8 年	1 173	614	559	109.8	4.3	4.2	4.4
9 年	1 121	519	602	86.2	4.1	3.5	4.7
10 年	1 280	644	636	101.3	4.6	4.4	5.0
11 年	1 048	534	514	103.9	3.8	3.6	4.0
12 年	896	439	457	96.1	3.3	3.0	3.6
13 年	819	412	407	101.2	3.0	2.8	3.2
14 年	764	417	347	120.2	2.8	2.8	2.7
15 年	849	444	405	109.6	3.1	3.0	3.2

在臺年數	總數	男	女	女百に 付男	在臺年數別百分比		
					總數	男	女
16 年	598	305	293	104.1	2.2	2.1	2.3
17 年	594	336	258	130.2	2.2	2.3	2.0
18 年	682	366	316	115.8	2.5	2.5	2.5
19 年	677	359	318	112.9	2.5	2.5	2.5
20 年	733	409	324	126.2	2.7	2.8	2.5
21 年	417	232	185	125.4	1.5	1.6	1.5
22 年	457	244	213	114.6	1.7	1.7	1.7
23 年	364	183	181	101.1	1.3	1.2	1.5
24 年	270	162	108	150.0	1.0	1.1	0.8
25 年	295	164	131	125.2	1.1	1.1	1.0
26 年	181	91	90	101.1	0.7	0.6	0.7
27 年	134	58	76	76.3	0.5	0.4	0.6
28 年	145	78	67	116.4	0.5	0.5	0.5
29 年	130	66	64	103.1	0.5	0.4	0.5
30 年	190	106	84	126.2	0.7	0.7	0.7
31 年	102	59	43	137.2	0.4	0.4	0.3
32 年	105	64	41	156.1	0.4	0.4	0.3
33 年	79	44	35	125.7	0.3	0.3	0.3
34 年	106	71	35	202.9	0.4	0.5	0.3
35 年	119	95	24	395.8	0.4	0.6	0.2
36 年	61	55	6	916.7	0.2	0.4	0.0
37 年	2	2	0.0	0.0	...
38 年	5	5	0.0	0.0	...
39 年	2	2	0.0	0.0	...
40 年	1	...	1	...	0.0	...	0.0

本島人の纏足者

本島人の纏足者は總數 16,137 人あり、本島人女總人口の五分五厘に當る。之を大正九年國勢調査の際に於ける同割合八分六厘に較ぶれば、三分一厘の減少を示せり。然るに本島人の女と雖も纏足の風習あるは、主もに福建人系統の者なるを以て、更に局限して福建人系統の女 1,000 人に對する割合を求むれば 73.8 人に當り、大正九年國勢調査に於ける同割合 110.6 人に比較すれば、割合に於て 36.8 人の減少を見る。因に大正九年國勢調査に於ける高雄州の纏足者は 18,971 人なり。

纏足者總數 16,137 人を各市郡別に見れば、最多は岡山郡に於ける 7,191 人即ち纏足者總數の四割四分六厘に當り、高雄市の一割九分三厘、東港郡の一割五分三厘、鳳山郡の一割一分四厘の如く孰れも一割以上あり、屏東、旗山、潮州、恒春の各郡に在りては孰れも纏足者總數の一割に達せず、殊に恒春郡に於ける三厘は其の數最も少なし。然るに之を各人口の多寡に對比せしむれば即ち本島人の女 1,000 人に對する割合の最も大なるは高雄市に於ける 146.2 人にして、岡山郡に於ける 124.2 人之に次ぎ、東港郡、鳳山郡、旗山郡、屏東郡、潮州郡、恒春郡の順序に 65.2 人乃至 3.4 人の間にあり。

市郡に依り分ちたる纏足者

市、郡	纏足者	割合	本島人女 千に付	福建人女 千に付
總 數	16,137	100.0	55.0	73.8
高 雄 市	3,120	19.3	146.2	148.0
岡 山 郡	7,191	44.6	124.2	124.8
鳳 山 郡	1,832	11.4	44.4	45.3
旗 山 郡	562	3.5	17.6	35.9
屏 東 郡	664	4.1	13.8	24.1
潮 州 郡	246	1.5	5.9	17.3
東 港 郡	2,476	15.3	65.2	73.6
恒 春 郡	46	0.3	3.4	5.3
水 面

次に纏足者の年齢を検するに、19 歳以下の者は僅かに 44 人なるも、20—29 歳の者に於ては 677 人即ち纏足者總數の 4.2% となり、爾餘漸増して 30—39 歳の者 2,575 人 (15.9%)、40—49 歳の者 4,065 人及 50—59 歳の者 4,069 人 (各 25.2%) の如く、40 歳乃至 50 歳級の者最も多く、60—69 歳に於ては 18.8% に低下し、更に 70 歳以上の者は 10.4% に減少せり。而して之を同年齡級に在る本島人女の數に對比せしむれば、70 歳以上最高率にして 1,000 人に付 417.9 人を示し、60—69 歳級の 333.6 人第二位にあり、第三位は 50—59 歳級の 219.9 人とし、以下 40—49 歳級の 146.9 人、30—39 歳級の 77.1 人、20—29 歳級の 14.4 人、19 歳以下の 0.3 人の如く年齢級を下る毎に其の割合は漸次減少せり。

纏足者 16,137 人を職業大分類に依り分てば、其の八割七分は無業者にして、農業 1,279 人は有業者中の第一位にあり、次で商業の 380 人、工業の 326 人等は

其の主なるものにして、以下公務自由業 50 人、家事使用人 27 人、其の他の有業者 18 人、水産業及交通業各 5 人あり、鑛業全くなし。而して之が各職業別人口に對する割合より見るときは、工業に於ける纏足者の割合最も多く、本島人の女にして工業に従事する者 1,000 人に付 125.1 人に當り、公務自由業に於ける 94.0 人、商業に於ける 89.1 人之に次ぎ、水産業、家事使用人、交通業、其の他の有業者、農業等に於ける纏足者の割合は 58.8 人乃至 17.3 人とす。

本島人の國語普及の程度

今回の調査に於ては、本島人の間に於ける國語普及の程度を國語を解し且読み書き得る者、國語を解し且読み得る者、國語を解するのみの者、國語を解せず読み書き得る者、國語を解せず読み得る者に區別して調査せり。然るに以上五者のうち其の數最も多きは、國語を解し且読み書き得る者の 38,444 人にして總數の過半を占め、國語を解せず読み書き得る者 16,515 人、國語を解せず読み得る者 9,359 人、國語を解するのみの者 3,600 人の如く相次ぎ、國語を解し且読み得る者 1,968 人最も少なし。而して總數 69,886 人を男女に分てば、男は 57,940 人即ち 82.9% にして、女は 11,946 人即ち 17.1% に當り、又女 100 人に對する男は 485.0 人に當るを以て、男女の均衡は 24 對 5 の割合なり。

國語普及の本島人

國語普及の程度	總數	男	女	女百に 付男	國語普及の程度別百分比例		
					總數	男	女
總 數	69,886	57,940	11,946	485.0	100.0	100.0	100.0
國語を解し且読み書き得る者	38,444	32,888	5,556	591.9	55.0	56.8	46.5
國語を解し且読み得る者	1,968	1,632	336	485.7	2.8	2.8	2.8
國語を解するのみの者	3,600	2,926	674	434.1	5.2	5.0	5.7
國語を解せず読み書き得る者	16,515	13,274	3,241	409.6	23.6	22.9	27.1
國語を解せず読み得る者	9,359	7,220	2,139	337.5	13.4	12.5	17.9

次に國語普及の本島人 69,886 人の人口に對する割合を求むれば、即ち本島人の人口 1,000 人に付男は 190.4 人、女は 40.7 人にして總數 116.9 人なり。各市郡別に之を見るときは、其の割合の最も大なるは恒春郡の 172.6 人にして、以下高雄市 165.1 人、旗山郡 156.5 人、潮州郡 150.4 人、屏東郡 137.9 人、東港郡 94.5 人、鳳山郡 73.3 人、岡山郡 69.0 人の順序とす。

本島の通人市郡に依り分ちたる國語普及の本島人

市、郡	總數	男	女	女百に付男	各人口千に付		
					總數	男	女
總數	69 886	57 940	11 946	485.0	116.9	190.4	40.7
高 雄 市	7 477	6 091	1 386	439.5	165.1	254.4	64.9
岡 山 郡	8 136	6 933	1 203	576.3	69.0	115.4	20.8
鳳 山 郡	6 168	5 242	926	566.1	73.3	122.1	22.4
旗 山 郡	10 688	8 583	1 505	570.3	156.5	264.2	47.1
屏 東 郡	13 483	10 937	2 546	429.6	137.9	219.5	53.1
潮 州 郡	12 562	10 098	2 464	409.8	150.4	241.8	59.0
東 港 郡	7 315	6 113	1 202	508.6	94.5	155.0	31.7
恒 春 郡	4 638	3 924	714	549.6	172.6	291.3	53.3
水 面	19	19	65.1	65.3	...

國語普及の本島人69,886人の年齢を検するに、9歳以下の者15,502人(二割二分二厘)あり、10—19歳の者は一躍33,409人(四割七分八厘)に激増して最高率を示せるも、20—29歳の者に至れば半減して14,943人(二割一分四厘)となり、以下30—39歳の者4,502人(六分五厘)、40—49歳の者1,283人(一分八厘)、50—59歳の者226人(三厘)の如く遞減して60歳以上の者は僅かに21人なり。而して更に之を各年齢級に在る本島人数に對比せしむれば、依然10—19歳級高率にして同年齢級の人口1,000人に付249.6人に當り、次で20—29歳級の150.0人、9歳以下の86.4人、30—39歳級の61.8人、40—49歳級の22.2人、50—59歳級の6.6人、60歳以上の1.1人の順序なり。

國語普及の本島人69,886人の職業を検するに、其の52.7%即ち36,771人は無業者にして、有業者は33,115人即ち47.3%なり。而して有業者中17,916人は農業にして總數の25.7%あり、商業の5,003人(7.2%)之に次ぐ。以下工業(4.8%)、公務自由業(4.4%)、交通業(2.7%)、其の他の有業者(1.6%)、水産業(0.7%)、家事使用人(0.2%)の順序にして、鑛業(0.0%)は其の數最も少なし。之を男女各別に觀察するに、總數の場合に比し男に在りては無業者の47.2%及家事使用人の0.1%は低率なるも、農業27.9%以下の各業は孰れも高率なり。之に反し女に在りては無業者の78.8%及家事使用人の0.9%は高率なるも、農業の14.4%以下の各業は孰れも低率なり。但し水産業と鑛業に於ける女は全くなし。

今回の調査に依る國語普及の本島人を大正九年國勢調査に於けるものと比較せんとするに、大正九年の調査に於ては國語を解する者、読み書き得る者、読み得る者の三者に區別して調査したる關係上、一人にて國語を解し

且読み書き得る者は、國語を解する者としても、読み書き得る者としても之を計上し、又一人にて國語を解し且読み得る者も此の方法に依り、國語を解する者及読み得る者の兩者に之を計上したるを以て、一人にて何れかの二者可能なる者は、上述の如く重複して計算せられたる譯なり。然るに今回の調査に於ては前記の五者に區別して調査したるを以て、大正九年と比較するため今茲に、國語を解し且読み書き得る者38,444人と國語を解し且読み得る者1,968人、及國語を解するのみの者3,600人とを合算したる44,012人を大正九年國勢調査の國語を解する者10,004人に較ぶれば實に34,008人の増加にして、又國語を解し且読み書き得る者38,444人と國語を解せず読み書き得る者16,515人とを合算したる54,959人を大正九年國勢調査の読み書き得る者12,837人に較ぶれば42,122人の増加にして、又國語を解し且読み得る者1,968人と國語を解せず読み得る者9,359人とを合算したる11,327人を大正九年國勢調査の読み得る者1,859人に較ぶれば9,468人の増加なり。而して今回の調査に依る以上の總數は110,298人にして、大正九年國勢調査に於ける總數は24,700人なるを以て、此の十年間に4.5倍の増加を示せり。是れ一面には人口の自然増加に伴ふ結果にも因るが、然らば之れが各人口に對する比率如何といふに本島人の人口1,000人に對する割合は大正九年の調査に於ては54.3人に當り、今回の調査に於けるものは184.5人なるを以て、人口に對する割合に於ても亦3.4倍の増率を示せり。之を以て見るも近時本島人間に於ける文化の趨向を察知するを得べし。

本島人の間に於ける國語普及數

	總數	男	女	女百に付男	各人口千に付			
					總數	男	女	
昭和五年	110 298	92 460	17 838	518.3	184.5	303.9	60.8	
昭和五年	國語を解する者	44 012	37 446	6 566	570.3	73.6	123.1	22.4
	読み書き得る者	54 959	46 162	8 797	524.7	91.9	151.7	39.0
	読み得る者	11 327	8 852	2 475	357.7	19.0	29.1	8.4
大正九年	24 700	22 851	1 849	1 235.9	54.3	98.0	8.3	
大正九年	國語を解する者	10 004	9 307	697	1 335.3	22.0	39.9	3.1
	読み書き得る者	12 837	11 899	938	1 268.6	28.2	51.0	4.2
	読み得る者	1 859	1 645	214	768.7	4.1	7.1	1.0

註 本表は國語普及の延數なり。

1 町、大字、社別住

町、大字、社	住居	世帯	人					
			總數			内地人		
			總數	男	女	總數	男	女
總數	116 687	117 096	633 319	324 875	308 444	28 329	15 426	12 903
高 雄 市	13 383	13 477	62 722	33 493	29 229	15 437	8 131	7 306
唱渡新山田	437	438	1 754	944	810	779	417	362
船 濱 下	1 081	1 094	4 601	2 499	2 102	3 398	1 770	1 628
嶺 下	280	295	1 289	815	474	678	384	294
嶺 下	610	615	2 641	1 479	1 162	1 915	999	916
嶺 下	552	557	2 282	1 246	1 036	808	434	374
壽堀入鹽榮	77	80	430	238	192	234	125	109
江船堤	550	557	2 146	1 143	1 003	1 669	866	803
野後和	569	571	2 508	1 323	1 185	956	501	455
北旗平級中	1 967	1 982	8 970	4 958	4 012	1 271	686	585
野後和	205	207	1 053	449	604	783	299	484
北旗平級中	1 201	1 204	6 050	3 204	2 846	201	112	89
野後和	1 306	1 308	6 175	3 226	2 949	343	173	170
北旗平級中	794	797	3 185	1 717	1 468	1 222	676	546
野後和	74	74	387	205	182	16	8	8
北旗平級中	384	384	2 213	1 179	1 034	7	3	4
野後和	153	153	783	414	369	43	22	21
北旗平級中	709	717	3 287	1 822	1 465	365	251	114
野後和	122	122	675	339	336
北旗平級中	109	109	487	239	248	28	16	12
野後和	354	361	1 938	1 019	919	320	162	158
北旗平級中	905	907	5 000	2 494	2 506	42	21	21
野後和	41	41	191	96	95	12	8	4
北旗平級中	177	177	906	488	418
野後和	239	239	1 486	744	742
北旗平級中	487	488	2 285	1 213	1 072	347	198	149
野後和	20 864	20 882	119 718	61 117	58 601	1 189	614	575
北旗平級中	2 408	2 414	12 727	6 514	6 213	351	178	173
野後和	634	638	3 319	1 647	1 672	249	119	130
北旗平級中	138	140	658	345	313
野後和	324	324	1 705	871	834
北旗平級中	39	39	199	98	101
野後和	178	178	1 334	673	661
北旗平級中	142	142	764	397	367
野後和	206	206	954	512	442	88	50	38
北旗平級中	21	21	104	52	52
野後和	208	208	1 029	539	490	8	6	2
北旗平級中	282	282	1 330	704	626	1	1	...
野後和	129	129	751	367	384
北旗平級中	26	26	161	90	71
野後和	81	81	419	219	200	5	2	3
北旗平級中	2 876	2 879	15 747	7 882	7 865	587	296	291
野後和	427	428	2 019	1 030	989	128	63	65
北旗平級中	120	120	628	310	318
野後和	45	45	209	103	106	9	5	4
北旗平級中	33	33	142	76	66
野後和	117	117	561	280	281	1	1	...
北旗平級中	415	415	2 283	1 150	1 133
野後和	124	124	722	360	362
北旗平級中	314	316	1 299	646	653	429	217	212
野後和	282	282	1 498	728	770	20	10	10
北旗平級中	313	313	1 710	850	860
野後和	58	58	371	186	185
北旗平級中	313	313	2 422	1 226	1 196
野後和	315	315	1 883	937	946

居、世帯及人口

口										人口ノ増減 (△ハ減)			
朝鮮人			本島人			外國人				自大正十四年五月至昭和五年		自大正九年至大正十四年	
總數	男	女	總數	男	女	總數	男	女	實數	割合	實數	割合	
161	57	104	597 823	304 268	293 555	7 006	5 124	1 882	107 936	205.8	49 569	104.4	
54	21	33	45 288	23 942	21 346	1 943	1 399	544	18 958	433.2	8 711	248.5	
3	3	...	757	394	363	215	130	85	
3	3	...	1 101	644	457	99	82	17	
...	534	366	168	77	65	12	
2	1	1	644	418	226	80	61	19	
...	1 457	797	660	17	15	2	
...	188	109	79	8	4	4	
...	453	257	196	24	20	4	
4	4	...	1 543	816	727	5	2	3	15 218	538.6	6 602	304.9	
8	5	3	7 089	3 801	3 288	602	466	136	
34	5	29	227	138	89	9	7	2	
...	5 779	3 032	2 747	70	60	10	
...	5 487	2 821	2 666	345	232	113	
...	1 835	957	878	128	84	44	
...	371	197	174	
...	2 197	1 170	1 027	9	6	3	238	120.5	210	119.0	
...	725	385	340	15	7	8	259	494.3	110	265.7	
...	2 841	1 507	1 334	81	64	17	987	429.1	479	263.0	
...	671	337	334	4	2	2	53	85.2	6	9.7	
...	441	217	224	18	6	12	77	187.8	76	227.5	
...	1 614	855	759	4	2	2	831	750.7	184	199.3	
...	4 841	2 404	2 437	117	69	48	576	130.2	513	131.2	
...	177	86	91	2	2	...	97	1031.9	11	104.8	
...	900	482	418	6	6	...	63	74.7	27	33.1	
...	1 485	743	742	1	1	...	162	122.4	122	101.5	
...	1 931	1 009	922	7	6	1	397	210.3	393	262.9	
1	1	...	117 988	60 099	57 889	540	403	137	10 813	99.3	7 672	75.8	
...	12 187	6 207	5 980	189	129	60	1 287	112.5	812	76.4	
...	2 910	1 421	1 489	160	107	53	696	265.3	463	214.4	
...	643	333	310	15	12	3	85	148.3	18	32.4	
...	1 704	870	834	1	1	...	65	39.6	93	60.1	
...	199	98	101	25	143.7	41	190.7	
...	1 334	673	661	150	126.7	121	113.8	
...	764	397	367	19	25.5	35	49.3	
...	856	455	401	10	7	3	125	150.8	36	45.4	
...	104	52	52	20	161.3	6	46.2	
...	1 020	532	488	1	1	...	46	46.8	40	39.1	
...	1 327	702	625	2	1	1	19	14.5	45	35.5	
...	751	367	384	44	62.2	65	101.2	
...	161	90	71	6	38.7	14	99.3	
...	414	217	197	27	68.9	9	23.5	
1	1	...	14 995	7 463	7 532	164	122	42	1 674	119.0	911	69.2	
...	1 819	915	904	72	52	20	212	117.3	273	178.0	
...	627	310	317	1	1	...	8	12.9	21	32.8	
...	200	98	102	19	100.0	20	55.6	
...	142	76	66	6	40.5	15	92.0	
...	560	279	281	42	80.9	18	35.9	
...	2 279	1 147	1 132	4	3	1	258	127.4	128	67.5	
...	722	360	362	59	89.0	90	157.1	
...	800	375	425	69	53	16	301	301.6	52	55.0	
...	1 468	709	759	10	9	1	162	121.3	40	30.9	
...	1 710	850	860	119	74.8	14	8.9	
...	371	186	185	38	114.1	14	43.9	
...	2 421	1 225	1 196	1	1	...	277	129.1	201	103.4	
...	1 876	933	943	7	4	3	185	109.0	107	67.3	

1 町、大字、社別住

町、大字、社	住居	世帯	人					
			總數			内地人		
			總數	男	女	總數	男	女
燕巢庄	1231	1231	6452	3326	3126	29	17	12
千深湖接竹	122	122	734	397	337
接瓊吊溪溪	199	199	974	483	491
阿蓮庄	1390	1392	7251	3628	3623	15	10	5
中石阿崙崗	243	243	1197	589	608
九土	96	96	461	238	223
路竹庄	2058	2059	12214	6085	6129	58	35	23
營一浙下下	39	39	175	95	80	24	12	12
大路鴨北三後	460	460	2822	1360	1462	14	8	6
湖內庄	3771	3775	24815	12843	11972	36	19	17
大湖竹海園	248	252	1311	690	621	10	7	3
頂崎	121	121	890	452	438
彌陀庄	4129	4130	23924	12303	11621	57	32	25
烏竹瀨海	148	148	776	419	357	21	13	8
彌池石梓澤	447	448	2410	1223	1187	19	10	9
大湖赤河	454	454	2901	1541	1360

居、世帯及人口 (續)

朝鮮人	本島人	外國人	人口ノ増減 (△ハ減)							
			自大正十四年昭和五年		自大正九年至大正十四年					
			總數	割合	實數	割合				
...	6418	3305	3113	5	4	1	675	116.8	491	92.9
...	734	397	337	86	132.7	83	146.9
...	974	483	491	113	131.2	50	54.9
...	7219	3604	3615	17	14	3	545	81.3	443	70.7
...	1196	588	608	1	1	...	78	69.7	14	12.7
...	12135	6030	6105	21	20	1	1231	112.1	1073	108.3
...	151	83	68	25	166.7	11	68.3
...	24756	12806	11950	23	18	5	2367	105.4	1681	80.9
...	1298	680	618	3	3	...	204	184.3	121	122.7
...	23819	12234	11585	48	37	11	1810	81.8	852	40.1
...	755	406	349	42	57.2	88	136.2
...	2367	1193	1174	24	20	4	215	97.9	45	20.9
...	1376	702	674	70	53.6	14	10.6
...	2896	1539	1357	5	2	3	288	110.2	111	44.4

1 町、大字、社別住

町、大字、社	住居	世帯	人					
			總數			内地人		
			總數	男	女	總數	男	女
左 營 庄	3001	3002	16588	8536	8052	56	27	29
榮左廓竹坪	12	12	84	45	39
桃前殺下右	1160	1160	6645	3394	3251	17	8	9
子 子	286	287	1641	833	808
子 子	71	71	438	236	202
子 子	179	179	791	427	364	26	11	15
子 子	306	306	1846	918	928
子 子	31	31	112	56	56	1	1	...
子 子	161	161	805	426	379
子 子	270	270	1769	934	835
子 子	66	66	355	183	172
子 子	459	459	2102	1084	1018	12	7	5
鳳 山 郡	16000	16031	86718	44470	42248	1762	964	798
鳳 山 街	3127	3145	14619	7577	7042	619	323	296
鳳 山 街	1712	1722	7660	3925	3735	505	257	248
鳳 山 街	100	100	440	220	220	6	4	2
鳳 山 街	225	228	1057	592	465	39	20	19
鳳 山 街	21	22	92	58	34	25	16	9
鳳 山 街	102	102	482	250	232
鳳 山 街	31	31	130	70	60
鳳 山 街	145	145	684	344	340
鳳 山 街	226	227	1242	622	620	7	5	2
鳳 山 街	138	139	685	346	339
鳳 山 街	31	31	156	86	70
鳳 山 街	49	49	196	103	93	15	7	8
鳳 山 街	245	247	1353	726	627	22	14	8
鳳 山 街	102	102	442	235	207
小 港 庄	2502	2502	14059	7187	6872	523	281	242
草佛小三天	93	93	452	215	237
草佛小三天	20	20	120	58	62
草佛小三天	258	258	1119	573	546	496	261	235
草佛小三天	77	77	302	160	142
草佛小三天	93	93	550	258	292	7	5	2
店鹽中風大	75	75	482	244	238	1	1	...
店鹽中風大	16	16	100	58	42
店鹽中風大	233	233	1350	682	668
店鹽中風大	412	412	2227	1112	1115	5	4	1
紅中空刺中	717	717	4612	2459	2153	6	4	2
紅中空刺中	14	14	60	30	30
紅中空刺中	101	101	495	249	246
紅中空刺中	79	79	379	201	178	2	1	1
紅中空刺中	41	41	186	99	87	6	5	1
大二	253	253	1524	737	787
大二	20	20	101	52	49
林 園 庄	2532	2536	14921	7672	7249	28	14	14
油中港王潭	343	343	2225	1182	1043	3	1	2
油中港王潭	457	457	2701	1392	1309
油中港王潭	499	500	2898	1498	1400	1	1	...
油中港王潭	423	423	2406	1281	1215
油中港王潭	327	327	1838	936	902	2	2	...
林 園 庄	239	242	1156	583	573	22	10	12
林 園 庄	244	244	1607	800	807

居、世帯及人口 (續)

口										人口ノ増減 (△減)			
朝鮮人			本島人			外國人			自大正十四年昭和五年		自大正九年至大正十四年		
總數	男	女	總數	男	女	總數	男	女	實數	割合	實數	割合	
...	16459	8450	8009	73	59	14	1224	79.7	1409	101.0	
...	84	45	39	21	333.3	22	536.6	
...	6598	3365	3233	30	21	9	468	75.8	530	93.9	
...	1641	833	808	152	102.1	110	79.8	
...	438	236	202	37	92.3	48	136.0	
...	729	384	345	36	32	4	44	58.9	109	170.8	
...	1844	916	928	2	2	...	213	130.4	178	122.3	
...	111	55	56	7	66.7	41	280.8	
...	805	426	379	71	96.7	107	170.7	
...	1769	934	835	103	61.8	301	220.5	
...	355	183	172	20	59.7	32	105.6	
...	2085	1073	1012	5	4	1	88	43.7	13	6.5	
...	84203	42940	41257	753	560	193	10312	135.0	7542	109.5	
...	13510	6894	6616	490	360	130	2068	164.8	1240	109.6	
...	6678	3319	3359	477	349	128	1289	202.3	741	131.6	
...	433	215	218	1	1	...	74	202.2	51	161.9	
...	1014	569	445	4	3	1	319	432.2	115	184.6	
...	67	42	25	2	22.2	6	62.5	
...	482	250	232	14	29.9	3	6.5	
...	130	70	60	3	23.6	93	422.7	
...	684	344	340	5	7.3	60	95.4	
...	1228	611	617	7	6	1	87	75.3	115	110.6	
...	685	346	339	24	36.3	5	7.6	
...	156	86	70	7	47.0	2	13.6	
...	181	96	85	1	5.1	40	168.8	
...	1330	711	619	1	1	...	198	171.4	276	314.0	
...	442	235	207	57	148.1	11	29.4	
...	13498	6874	6624	38	32	6	1673	135.1	1604	148.8	
...	452	215	237	27	63.5	83	242.7	
...	120	58	62	6	47.6	
...	623	312	311	191	205.8	180	240.6	
...	298	157	141	4	3	1	55	222.7	74	427.7	
...	542	252	290	1	1	...	71	148.2	68	165.5	
...	480	242	238	1	1	...	49	113.2	64	173.4	
...	100	58	42	24	193.5	56	823.5	
...	1	1000.0	
...	1350	682	668	171	145.0	178	177.8	
...	2209	1096	1113	13	12	1	330	174.0	180	104.8	
...	4587	2440	2147	19	15	4	587	145.8	485	137.0	
...	60	30	30	28	318.2	6	73.2	
...	495	249	246	2	4.1	1	2.0	
...	377	200	177	81	271.8	22	79.7	
...	180	94	86	31	200.0	25	192.3	
...	1524	737	787	162	118.0	182	154.2	
...	101	52	49	31	234.8	6	47.6	
...	14851	7622	7229	42	36	6	1503	112.0	832	66.1	
...	2222	1181	1041	21	9.5	30	13.8	
...	2701	1392	1309	248	101.1	78	32.8	
...	2897	1497	1400	297	114.2	180	74.3	
...	2491	1276	1215	5	5	...	230	101.5	183	87.9	
...	1834	933	901	2	1	1	227	140.9	145	98.9	
...	1099	543	556	35	30	5	288	331.8	82	104.3	
...	1607	800	807	192	135.7	134	104.6	

1 町、大字、社別住

町、大字、社	住居	世帯	人					
			總數			內地人		
			總數	男	女	總數	男	女
大 栗 庄	2 612	2 614	15 308	7 738	7 570	327	186	141
磯山	243	243	1 325	693	632
磯山	450	450	2 822	1 383	1 439
磯山	545	546	2 827	1 439	1 388	175	102	73
磯山	264	264	1 315	659	656
磯山	421	422	2 961	1 484	1 477	108	58	50
磯山	689	689	4 058	2 080	1 978	44	26	18
大 瀬 庄	2 468	2 474	13 553	6 979	6 574	205	121	84
瀬	343	346	2 025	1 031	994	31	22	9
瀬	317	317	1 866	931	875
瀬	420	420	2 106	1 081	1 025	7	6	1
瀬	206	206	942	497	445	5	1	4
瀬	486	486	2 995	1 546	1 449	7	6	1
瀬	396	399	1 777	930	847	155	86	69
瀬	300	300	1 902	963	939
仁 武 庄	1 722	1 722	8 692	4 492	4 200	35	22	13
武	58	58	293	154	139
武	26	26	129	71	58
武	144	144	683	340	343	3	1	2
武	99	99	509	244	265
武	509	509	2 761	1 411	1 350	3	2	1
武	101	101	521	270	251
武	37	37	178	99	79	6	4	2
武	70	70	357	177	180
武	12	12	49	28	21
武	96	96	471	259	212
武	79	79	325	178	147
武	32	32	175	95	80
武	33	33	157	77	80
武	206	206	1 021	529	492	5	4	1
武	40	40	221	119	102	16	9	7
武	53	53	276	142	134
武	42	42	165	87	78	2	2	...
武	39	39	165	90	75
武	46	46	236	122	114
島 松 庄	1 037	1 038	5 566	2 825	2 741	25	17	8
松	59	59	387	203	184
松	32	32	185	87	98
松	71	71	355	183	172
松	186	186	1 061	535	526	20	14	6
松	93	93	556	268	288
松	41	41	289	160	129
松	16	16	92	43	49	3	2	1
松	341	341	1 690	849	841	2	1	1
松	26	27	132	71	61
松	172	172	819	426	393
旗 山 郡	12 126	12 159	66 214	33 534	32 680	1 217	654	563
旗 山 街	3 702	3 730	18 568	9 656	8 912	972	514	458
旗山	1 326	1 340	6 443	3 369	3 074	574	297	277
旗山	192	192	956	505	451
旗山	360	361	1 674	873	801	27	19	8
旗山	883	884	4 892	2 494	2 398	19	9	10
旗山	301	301	1 586	811	775	11	4	7
旗山	479	481	2 093	1 091	1 002	271	145	126
旗山	161	171	924	513	411	70	40	30

居、世帯及人口 (續)

町、大字、社	住居	世帯	人口											人口ノ増減 (△ハ減)				
			朝鮮人			本島人			外国人			自大正十四年至昭和五年		自大正九年至大正十四年				
			總數	男	女	總數	男	女	總數	男	女	實數	割合	實數	割合			
大 栗 庄	2 612	2 614	15 308	7 738	7 570	327	186	141	14 928	7 509	7 419	53	43	10	1 749	129.0	1 421	117.1
磯山	243	243	1 325	693	632	1 325	693	632	107	87.8	14	11.6
磯山	450	450	2 822	1 383	1 439	2 811	1 374	1 437	11	9	2	201	76.7	273	116.3
磯山	545	546	2 827	1 439	1 388	175	102	73	2 632	1 319	1 313	20	18	2	235	90.7	217	91.4
磯山	264	264	1 315	659	656	1 315	659	656	62	49.5	136	121.8
磯山	421	422	2 961	1 484	1 477	108	58	50	2 850	1 424	1 426	3	2	1	502	204.1	323	151.2
磯山	689	689	4 058	2 080	1 978	44	26	18	3 995	2 040	1 955	19	14	5	642	187.9	458	154.8
大 瀬 庄	2 468	2 474	13 553	6 979	6 574	205	121	84	13 246	6 789	6 457	102	69	33	1 930	166.1	1 191	114.2
瀬	343	346	2 025	1 031	994	31	22	9	1 985	1 005	980	9	4	5	306	178.0	80	54.6
瀬	317	317	1 866	931	875	1 789	925	864	7	6	11	119	70.5	168	110.6
瀬	420	420	2 106	1 081	1 025	7	6	1	2 073	1 058	1 015	26	17	9	456	276.4	194	133.2
瀬	206	206	942	497	445	5	1	4	927	489	438	10	7	3	66	75.3	48	58.0
瀬	486	486	2 995	1 546	1 449	7	6	1	2 985	1 537	1 448	3	3	...	380	145.3	308	133.5
瀬	396	399	1 777	930	847	155	86	69	1 592	819	773	30	25	5	330	228.1	199	159.5
瀬	300	300	1 902	963	939	1 895	956	939	7	7	...	273	167.6	185	128.1
仁 武 庄	1 722	1 722	8 692	4 492	4 200	35	22	13	8 638	4 455	4 183	19	15	4	446	54.1	567	73.8
武	58	58	293	154	139	293	154	139	6	20.1
武	26	26	129	71	58	129	71	58	2	15.7	26	169.9
武	144	144	683	340	343	3	1	2	680	339	341	15	22.5	19	29.3
武	99	99	509	244	265	503	238	265	6	6	...	8	15.5	56	121.5
武	509	509	2 761	1 411	1 350	3	2	1	2 753	1 407	1 346	5	2	3	243	96.5	181	77.4
武	101	101	521	270	251	521	270	251	61	132.6	24	55.0
武	37	37	178	99	79	6	4	2	172	95	77	31	148.3	11	55.6
武	70	70	357	177	180	357	177	180	57	190.0	42	162.8
武	12	12	49	28	21	49	28	21	1	20.0
武	96	96	471	259	212	471	259	212	35	80.3	16	38.1
武	79	79	325	178	147	325	178	147	60	155.8	57	173.8
武	32	32	175	95	80	175	95	80	35	250.0	22	186.4
武	33	33	157	77	80	157	77	80	20	146.0	17	141.7
武	206	206	1 021	529	492	5	4	1	1 008	518	490	8	7	1	50	51.5	8	8.3
武	40	40	221	119	102	16	9	7	205	110	95	29	151.0	24	142.9
武	53	53	276	142	134	276	142	134	21	82.4	24	86.0
武	42	42	165	87	78	2	2	...	163	85	78	34	170.9	38	236.0
武	39	39	165	90	75	165	90	75	1	6.1	51	451.3
武	46	46	236	122	114	236	122	114	16	72.7	52	309.5
島 松 庄	1 037	1 038	5 566	2 825	2 741	25	17	8	5 532	2 803	2 729	9	5	4	943	204.0	687	174.5
松	59	59	387	203	184	387	203	184	214	1237.0	73	730.0
松	32	32	185	87	98	185	87	98	15	88.2	44	349.2
松	71	71	355	183	172	355	183	172	61	207.5	101	523.3
松	186	186	1 061	535	526	20	14	6	1 041	521	520	100	104.1	163	204.3
松	93	93	556	268	288	556	268	288	61	123.2	65	151.2
松	41	41	289	160	129	289	160	129	111	623.6	16	98.8
松	16	16	92	43	49	3	2	1	89	41	48	42	840.0	23	851.9
松	341	341																

1 町、大字、社別住

町、大字、社	住居	世帯	人					
			總數			内地人		
			總數	男	女	總數	男	女
長興庄	2314	2318	13517	6863	6654	68	44	24
長興庄	706	706	3988	2007	1981	31	19	12
長興庄	692	693	3997	1997	2000	14	9	5
長興庄	618	620	3445	1769	1676	18	11	7
長興庄	298	299	2087	1090	997	5	5	...
鹽埔庄	1647	1652	10515	5263	5252	46	26	20
鹽埔庄	621	621	3861	1951	1910	26	15	11
鹽埔庄	402	402	2920	1425	1495
鹽埔庄	372	377	2124	1081	1043	20	11	9
鹽埔庄	252	252	1610	806	804
高樹庄	1892	1893	10710	5298	5412	38	19	19
高樹庄	233	234	1424	707	717	28	11	17
高樹庄	414	414	2277	1141	1136
高樹庄	158	158	816	420	396
高樹庄	361	361	1987	976	1011	1	1	...
高樹庄	218	218	1246	589	657	6	5	1
高樹庄	304	304	1807	899	908
高樹庄	204	204	1153	566	587	3	2	1
六新土菱新	1140	1146	5506	2814	2692	165	91	74
六新土菱新	378	383	1805	984	821	105	61	44
六新土菱新	274	274	1445	684	761	3	2	1
六新土菱新	171	171	801	390	411	35	18	17
六新土菱新	184	184	848	431	417	8	4	4
六新土菱新	133	134	607	325	282	14	6	8
里港庄	1724	1728	8954	4549	4405	216	123	93
里港庄	760	762	3751	1882	1869	154	80	74
里港庄	251	251	1341	674	667
里港庄	38	38	264	141	123
里港庄	95	95	469	254	215
里港庄	183	185	1030	534	496	20	14	6
里港庄	359	359	1895	957	938	42	29	13
里港庄	38	38	204	107	97
九塊庄	1171	1171	6529	3258	3271	29	13	16
九塊庄	411	411	2441	1203	1238	14	7	7
九塊庄	131	131	637	319	318
九塊庄	190	190	1042	507	535
九塊庄	361	361	1980	1001	979
九塊庄	78	78	429	228	201	15	6	9
地	2997	3006	14362	7526	6836	345	218	127
地	85	85	442	225	217	3	2	1
地	27	27	127	61	66
地	107	107	400	219	181	8	6	2
地	36	36	173	88	85
地	30	30	151	69	82
地	184	184	844	411	433	7	5	2
地	102	102	496	245	251
地	29	29	162	85	77
地	16	16	83	46	37
地	69	69	253	133	120	3	2	1
地	42	42	153	75	78
地	65	65	265	134	131	10	4	6
地	30	30	120	75	45

居、世帯及人口 (續)

口										人口ノ増減 (△ハ減)			
朝鮮人			本島人			外國人			自大正十四年上期至十五年		自大正九年至大正十四年		
總數	男	女	總數	男	女	總數	男	女	實數	割合	實數	割合	
...	13358	6762	6596	91	57	34	1442	119.4	1209	111.3	
...	3931	1972	1959	26	16	10	475	135.2	436	141.7	
...	3932	1957	1975	51	31	20	445	125.3	264	80.3	
...	3420	1753	1667	7	5	2	272	85.7	185	61.9	
...	2075	1080	995	7	5	2	250	136.1	324	214.1	
...	10442	5212	5230	27	25	2	1375	150.4	905	109.9	
...	3809	1912	1897	26	24	2	496	147.4	350	116.1	
...	2920	1425	1495	538	225.9	298	143.0	
...	2104	1070	1034	212	110.9	113	62.8	
...	1609	805	804	1	1	...	129	87.1	144	107.7	
...	10648	5265	5383	24	14	10	1234	130.2	837	96.9	
...	1384	690	694	12	6	6	207	170.1	134	123.7	
...	2275	1139	1136	2	2	...	295	148.8	43	22.2	
...	816	420	396	95	131.8	94	149.9	
...	1985	974	1011	1	1	...	125	67.1	92	52.0	
...	1237	582	655	3	2	1	111	97.8	172	178.0	
...	1803	897	906	4	2	2	190	117.5	279	208.5	
...	1148	563	585	2	1	1	211	224.0	23	25.0	
...	5309	2701	2608	31	22	9	90	16.6	461	93.0	
...	1684	911	773	15	12	3	37	20.9	174	109.2	
...	1437	679	758	5	3	2	47	31.5	267	218.0	
...	762	372	390	4	3	1	113	164.2	88	113.4	
...	836	423	413	4	4	...	52	57.8	118	150.9	
...	590	316	274	3	3	...	39	68.7	10	17.3	
...	8638	4350	4288	95	75	20	944	117.9	138	17.5	
...	3499	1727	1772	93	74	19	577	181.8	130	42.7	
...	1341	674	667	223	199.5	35	32.3	
...	264	141	123	45	145.0	126	280.7	
...	469	254	215	94	250.7	48	146.8	
...	1010	520	490	66	68.5	47	51.3	
...	1851	927	924	2	1	1	415	280.4	49	34.2	
...	204	107	97	386	654.2	45	70.9	
...	6481	3233	3248	19	12	7	793	138.2	590	114.7	
...	2418	1191	1227	9	5	4	373	180.4	101	101.8	
...	637	319	318	25	40.8	28	47.9	
...	1042	507	535	88	92.2	128	155.0	
...	1979	1001	978	1	215	121.8	168	105.2	
...	405	215	190	9	7	2	92	273.0	75	286.3	
...	14016	7307	6709	1	1	...	13206	11423.9	115	90.5	
...	439	223	216	439	146.333.3	2	400.0	
...	127	61	66	127	
...	392	213	179	388	32.333.3	5	714.3	
...	173	88	85	173	
...	151	69	82	151	
...	837	406	431	841	280.333.3	4	571.4	
...	496	245	251	496	
...	162	85	77	162	
...	83	46	37	83	
...	250	131	119	249	62.250.0	2	1000.0	
...	153	75	78	153	
...	255	130	125	256	28.444.4	5	1250.0	
...	120	75	45	120	